

2 個別事業評価調書

団体名:伊根町

事業名		いきいき健康チャレンジ事業			
事業の概要	事業の概要	<p>伊根町スポーツチャレンジフェスティバル 6月10日(日)</p> <p>○伊根町桜が丘運動公園グラウンドをメイン会場として、伊根町内の体育施設を利用し、スポーツ大会やスポーツ教室等を実施。</p> <p>○参加者数454名。</p> <p>○実施種目:大縄跳び、野球、ソフトボール、ゲートボール、グランドゴルフ、ソフトバレーボール、テニス、テニス教室、バドミントン教室、ウォーク</p> <p>○事業費 142,506円</p> <p>伊根町健康づくりウォーク 12月2日(日)</p> <p>○町内の美しい自然景観を満喫しながら歩くことで、町民の体力づくりと健康の増進を図る。国道178号養老伊根バイパスの開通記念と時期を併せ、新しい道路を通った。</p> <p>○参加者数365名</p> <p>○事業費 115,874円</p>			
		事業期間	平成19年度		
		総事業費	258	本年度事業費	258
事業評価	事業の必要性	運動を行うことは、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の予防に効果的であり、町民の健康増進のためにはスポーツの普及・振興が必要であり、取組を継続するためには一緒にスポーツを行う仲間の存在が必要である。			
	事業の有効性	自分自身の健康を維持する上で、みんなとスポーツをして健康づくりに努める意識づくりができる。			
	事業の効率性				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 総合開会式後、を行い健康づくりの啓発に努めた。各地区の代表として選考され郷土のために数多く飛んだ。各地区民運動会でも京都ギネスに挑戦してほしい。			
		3 リーディング・モデル成果			
4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。